

開催報告



NPO政策研究所・専務理事 相川康子さん

8月3日(土)に、防災講座を開催しました(42名参加)。

NPO政策研究所・専務理事で防災士の相川康子さんを講師としてお招きし、「地域防災をバージョンアップしよう〜多様な視点で再点検」をテーマにお話しいただきました。

阪神・淡路大震災以降に『災害対応には「自助」「互助・共助」「公助」のバランスが大切』ということが言わ

れてきたが、近年の社会情勢ではそのバランスが変わりつつあり、「『従来手法からの脱却=バージョンアップ』が必要だ」ということをお話しいただきました。

「従来手法=マッチョ(頑強な男性中心の)な視点で考えられてきたもの」を変えていくには様々な人の意見を聴く必要があり、まずは人口の半分以上を占める女性の視点を積極的に取り入れることが大切とのことでした。

「人口減少」「少子高齢化」「行政の人員不足・財政悪化」など状況は困難になってきていますが、私たち一人一人が当事者意識をもって行動すれば解決できることも多くあります。

まずは、普段の暮らしに防災の要素を取り入れ(プラス防災)、備えることから始めてみましょう。